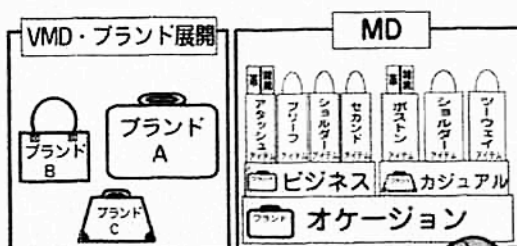


武永 昭光の

MD基礎講座

Q 百貨店でかばん売り場を担当し、ブランド別に展開しています。スクラップ・アンド・ビルドする時にはグレードやテストのバランスを崩さないようにしていますが、あとMD上、気をつけなければいけないことにどのようなことがありますか。

A 展開はブランド別でも、MDは単品レベルまで押さえる必要があります。理由は単品で押さえないと切り口によっては欠落しているかも知れないからです



単品まで押さえないと切り口によっては、欠落しているかもしれないからです



単品レベルまで押さえる

す。かばんのMDを修正する際には、ブランドの入れ替えだけではなく、アイテムやオケーション、素材のバランスの修正などが考えられます。

品揃え上の欠落部分を少なくしようと考えるなら、使用目的で分けたかばん・旅行用品のバランス、かばんをオケーションで分類したビジネス・カジュアルのバランス、ビジネスバッグをアイテムで分けたアタッシュ・ブリーフケース・ショルダー・セカンドのバランス、カジュアルバッグをアイテムで分類したボストン・ショルダー・ツーウエーのバランス、それらを素材で分けた革・雑材のバランスなどを決める必

MDプランの作成 ③

要があります。

これは前回述べたMDバランスのチェックです。さらにやるべきことは、アイテムバランスのチェック後のアイテムの中身のバランスチェックです。例えば、ブリーフケース全体をみて（すべてのブランドを通して）、素材のバランスがニーズと合っているか、売れるプライスの商品が一番多くなっているか、などをチェックする必要があります。ブリーフケースの適正な型数はそれ以前に行うアイテムバランスのチェックにより決められます。このようにVMD上はブランド別でも、MD上は単品レベルまで押さえます。（ショーアンドテル代表）